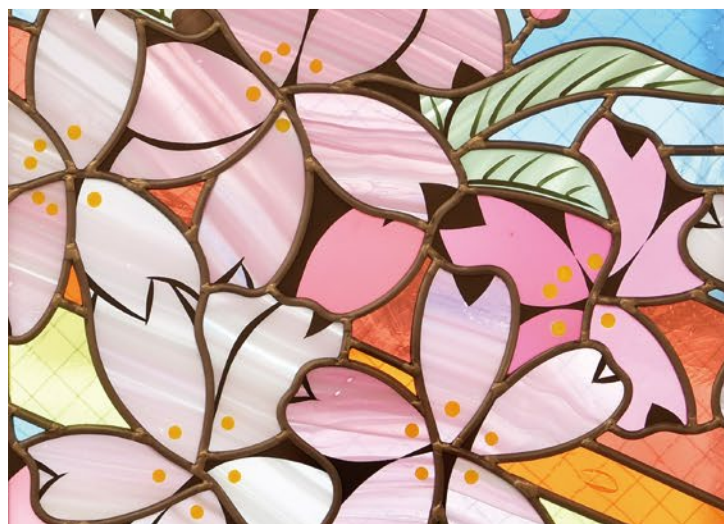


ワークライフマネジメントに向けた 研究者支援



INDEX

1	子育て中の学内女性研究者に対する 研究補助者支援	01
2	妊娠中、未就学児養育中、介護・看護中の 学内研究者に対する一時支援	02
3	育児休業を取らない育児期間中の 教員の職務軽減制度	03
4	お茶の水女子大学賞	04
5	女性研究者のための研究継続奨励型 「特別研究員制度」(呼称「みがかずば研究員制度」)	06
6	学内保育所(いずみナーサリー)の設置	07
7	育児支援奨学金(いずみナーサリー利用者対象)	07
8	イベント時の臨時託児室の開設	08
9	ベビールームの設置	08
	お茶の水女子大学 その他の主な研究者支援	09

1 子育て中の学内女性研究者に対する 研究補助者支援



2006年度から実施。子育てをしながら優れた研究を行っている本学所属の常勤女性教員(研究者)を対象に、研究活動を技術的、事務的にサポートする研究補助者を配置する支援を実施しています。

募集時期 年に1回(例年、11月頃)

支援内容 ・3名程度を対象とする。(応募者多数の場合は、審査により決定)
・補助者はAAとして雇用又は謝金を支給。
・支援時間は週12時間程度(1日6時間、週2日支援)を基準とする。
※支援時間の上限は子ども(末子)の年齢により決定。(未就学児は最大で週29時間、小学校1～3年生は最大で週24時間)

対象者 現在妊娠中で支援を希望する年度に申請者が子育てを予定している(支援は産休・育休明け)、又は小学校3年生以下の申請者の子どもを養育しながら優れた研究を行っている本学所属の常勤女性教員(教授、准教授、講師、助教〈特任を含む〉)。



2010年度から実施。妊娠中や未就学児養育中、親族の介護や病気看護に携わる学内研究者（性別を問わず）を対象に、教育・研究活動を技術的・事務的に支援する補助者に謝金を支給します。



(P01)「子育て中の学内女性研究者支援」との主な相違点

- ・男性やリサーチフェローも利用可能
- ・育児中だけでなく、家族を介護中・看護中も利用可能
- ・支援時間は上限月40時間

募集時期 年に2回（例年、11月頃〈翌年度前期分〉、6月頃〈当年度後期分〉）

支援内容 ・5名程度を対象とする。（応募者多数の場合、支援時間は審査により決定）
・補助者には謝金を支給。（雇用契約なし）
・支援時間は上限月40時間。

対象者 本学に所属する常勤の研究者であり、申請時に以下の（1）～（5）のいずれかにあてはまる者。（性別不問、任期付き教員・リサーチフェローを含む）
（1）親族（配偶者及び2親等まで）を介護中であること。（要介護段階が「要支援」又は「要介護」）
（2）親族（配偶者及び2親等まで）を病気看護中であること。
（3）妊娠中。（本人、産前休暇中を除く）
（4）未就学児（申請者の子）養育中。
（5）上記（1）～（4）以外で特に支援が必要な状況であること。

【問合せ先】 広報・ダイバーシティ推進課（大学本館117室）
電話：03-5978-5336 E-mail: danjo@cc.ocha.ac.jp



研究指導や実験スケジュールなどで育児休業を取れない事情にあるが、子育てのために職務を抑えたいという教員（性別を問わず）のニーズに応え、弾力的に業務を減免します。

募集時期 当該学期開始前の2月末又は8月末までに申請。

支援内容 委員会業務などの減免、授業負担を軽減し、年間8単位（120時間）まで代替となる非常勤講師採用を認める。
制度活用期間における非常勤講師の財源は、年間4単位（60時間）まで大学が措置。

対象者 運営費交付金で雇用される専任の教授、准教授、講師、助教及び外国語教員であり、子どもが3歳に達した日（誕生日の前日）以後における最初の9月30日又は3月31日のいずれか早い日までを限度。適用資格の詳細については、以下「問合せ先」までお問合せください。



【問合せ先】 人事労務課 職員・労務安全担当（大学本館238室）
電話：03-5978-2045/5111 E-mail: syokuin@cc.ocha.ac.jp

2013年度から開始。自然科学、生命科学とその関連領域科学、人文社会科学、生活科学・家政学の発展と、若手女性研究者の活躍を願い、お茶の水女子大学賞として、現在、「湯浅年子賞」、「黒田チカ賞」、「保井コノ賞」、「小泉郁子賞」、「辻村みちよ賞」の5つが設立されています。

募集時期 年に1回(例年、6月頃)
※授賞式は例年2月中旬頃開催

授与 受賞者には、賞状及び副賞の盾を授与する。
湯浅年子賞の副賞は盾に代わりメダルを授与する。黒田チカ賞は賞金10万円も授与する。



お茶の水女子大学賞副賞のメダル、ガラスオーナメント(盾)

【問合せ先】 広報・ダイバーシティ推進課(大学本館117室)
電話: 03-5978-5336 E-mail: danjo@cc.ocha.ac.jp



湯浅年子賞

本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て、フランスにおいては長年にわたって優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した日本初の女性自然科学者である湯浅年子氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰する賞。

黒田チカ賞

本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て、天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い、日本初の女性化学者として活躍した黒田チカ氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において活躍が期待される女性研究者を顕彰する賞。

保井コノ賞

日本の生物科学の黎明期から革新的な研究を展開するとともに、本学及びその前身校において数多くの女子学生を育てた保井コノ氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、生命科学とその関連領域科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰する賞。

小泉郁子賞

本学卒業後アメリカに留学し、『男女共学論』を著すなどの社会的活動を通じて女性の権利向上を広く訴えるとともに、日中教育文化交流に尽力し、戦後は桜美林学園の創設発展に貢献した小泉郁子氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、人文社会科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰する賞。

辻村みちよ賞

本学卒業後数多くの女子学生を育て、茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い、日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、生活科学・家政学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰する賞。



5

女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」(呼称「みがかずば研究員制度」)

2012年度から実施。学術研究の将来を担う創造性に富んだ女性研究者の養成・確保に資するため、本学独自の特別研究員(呼称:みがかずば研究員)制度を導入しています。優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供します。

募集時期 年に2回(例年、11月頃<翌年度前期分>、6月頃<当年度後期分>)

支援内容

- ・数名を対象とする。(書類審査及び面接審査あり)
- ・就業時間は週2時間。(給与、通勤手当を支給)
- ・採用の通算期間は原則として2年以内。ただし、やむを得ない場合であっても3年を限度とする。

対象者 次の(1)～(4)全てを満たす者。

- (1) 博士の学位を有している者。(採用日前までに博士の学位を取得する見込みの者を含む)
- (2) 常勤職に就いていない研究者。(着任時)
- (3) 日本国籍を持つ者、又は日本に居住している外国人。
- (4) 応募前に受入教員の下承を得た者。



みがかずば研究員交流会

【問合せ先】 広報・ダイバーシティ推進課(大学本館117室)
電話:03-5978-5336 E-mail:danjo@cc.ocha.ac.jp



6

学内保育所(いずみナーサリー)の設置

2002年に附属幼稚園園舎内にいずみ保育所を開室し、2005年に本学附属の保育所(いずみナーサリー)を開所しました。本学の教職員、学生等が利用でき、「月ぎめ保育(週1日～週5日コース)」と「時間預かり保育」の利用形態を設けています。



募集時期
随時

対象者
入所時点で生後6ヶ月～4月1日現在で満3歳未満の子がいる保護者。(本学の教職員、本学の学生、その他施設長が特に必要と認めた者)

【問合せ先】 いずみナーサリー
電話:03-5978-5337 E-mail:izumi@cc.ocha.ac.jp



7

育児支援奨学金(いずみナーサリー利用者対象)

本学の正規学生で、本学が設置する保育所(いずみナーサリー)を利用する者が申請できる本学独自の奨学金です。これ以外にも本学独自の奨学金があります。詳細は右下の二次元コードをご覧ください。



募集時期
随時

支援内容
原則、いずみナーサリー保育料の半額を奨学金として授与。

対象者
いずみナーサリーを利用する本学の正規学生。

【問合せ先】 学生・キャリア支援課 奨学金担当(学生センター棟201室)
電話:03-5978-5148 E-mail:gakusei@cc.ocha.ac.jp



8 イベント時の 臨時託児室の開設

土日祝日に通常授業、入試、学内イベント等を行う際、その業務のために勤務を要する子育て中の教職員等（通常授業に出席する学生を含む）のうち、家庭での保育が困難な者を対象に、臨時託児室を開設し、子どもの一時預かりを実施しています。また、イベント開催時には、子育て中の方もイベントへ参加しやすいように本学教職員や学生以外のイベント参加者にも開放する場合があります。



募集時期

各イベントの約4週間前に学内者向けメールにて周知。

対象者

土日祝日に開催されるイベントや開講される通常授業に出勤・出席する教職員又は学生で満1歳～6歳の未就学児を子育て中の方。（満1歳未満は応相談）

【問合せ先】 広報・ダイバーシティ推進課（大学本館117室）
電話：03-5978-5336 E-mail: danjo@cc.ocha.ac.jp

9 ベビールームの設置

生活科学部本館2の1階に、育児のためのベビールームを設置しています。ベビールームには、ベビーベッドや授乳、調乳、搾乳等のための設備が備えられています。



対象者

教職員、学生、附属学校の児童・生徒の保護者及び研究会等で来学された方。

【問合せ先】 人事労務課 職員・労務安全担当（大学本館238室）
電話：03-5978-2045/5111 E-mail: syokuin@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学その他の主な研究者支援

1 お茶の水女子大学大学院生 研究補助金

将来、国際的に活躍が期待される若手研究者を育成する施策の一環として、本学大学院の博士後期課程の学生に対し、補助金（研究費）を重点的に配分することにより、研究活動を支援します。

2 お茶の水女子大学大学院生 国際学会発表支援

将来、国際的に活躍が期待される若手研究者を育成する施策の一環として、本学大学院の博士前期及び後期課程の学生に対し、国際学会において発表するための渡航費等を補助することにより、研究活動を支援します。

3 お茶の水女子大学論文投稿支援

本学に所属する常勤研究者（教授、准教授、講師、助教、リサーチフェロー〈特任教員、寄附講座等教員も含む〉）及び本学大学院の博士前期及び後期課程の学生を対象として、海外学術誌への投稿に必要な経費を支援します。

4 科研費関係支援策

科研費応募予定の若手研究者を対象に、採択された調書の閲覧制度やメンターチェック（科研費採択実績を持つ学内研究者による調書内容確認）を実施しています。

5 お茶の水女子大学高田弘子奨学金 （若手研究者対象）

本学が推進する重点領域の研究に従事する若手女性研究者に対し、奨学金を授与することにより、研究の奨励及び若手研究者の育成を図ることを目的とする奨学金制度です。

6 エルゼビア社ジャーナル オープンアクセス化支援

エルゼビア社の対象ハイブリッドジャーナルで受理された論文をオープンアクセス化の際、個人研究費負担額を軽減し掲載できるように支援します。所定の本数まで、本学に所属する常勤研究者が責任著者であることが条件となります。

7 リサーチフェロー制度

本学での学位取得者（課程博士）を対象に、公募により採用します。自主的自律的に研究する機会を与え、多様なキャリア・パスの確保を図る、ポスドク・プログラム制度です。

8 基幹研究院研究員制度

本学で学位（博士）を取得した研究者で常勤の職を有しない方等を対象に、公募により受入れます。研究者の育成を行い、併せて本学基幹研究院の研究面での活性化と情報発信の活性化を促すことを目的とした制度です。

【問合せ先】

1-4 ▶ 研究・産学連携課 研究推進担当（大学本館101室）
電話：03-5978-5163
E-mail: kenkyo-TL@cc.ocha.ac.jp

5 ▶ 研究・産学連携課 社会連携担当（大学本館101室）
電話：03-5978-5502
E-mail: s-kenkyo@cc.ocha.ac.jp

6 ▶ 図書・情報課 雑誌担当（附属図書館事務室）
電話：03-5978-5834
E-mail: libsys@cc.ocha.ac.jp

7-8 ▶ 学務課（学生センター棟101室）
電話：03-5978-5141